

# NPO法人 フード・風土 の設立から現在まで

## <設立までの経緯>

### 準備

- 2009年7月 生協の組合員活動でない、自主的な活動ができる場を求め設立の意志を持つ。
- 8月～9月 東京都生活文化スポーツ局へ行きNPO設立に向けての説明会へ出席  
⇒設立趣旨書・定款の作成 (文章などは記載例を模範として作成)  
※法人設立申請相談を利用  
作成にあたり2回東京都生活文化スポーツ局のNPO担当者に文章などの正誤チェックやアドバイスを受ける。
- 9月末 設立総会 会議議事録の作成
- 9月末 東京都へ申請書類(設立趣旨書・定款・設立総会議事録)提出⇒受理  
受理日から4ヶ月以内審査・縦覧期間経過後2ヶ月以内⇒広告

### 設立

- 2010年1月末 認定決定・・・認定決定通知受領 1月27日設立
- 2月初旬 法務局登記所で法人設立登記  
設立完了届出書・閲覧用書類を東京都に提出

## <設立後から現在までの活動>

- 2010年3月 NPOについての学習会を行う
- 4月 平成21年度(設立～3月末)の総会を行う  
平成21年度事業
- 5月 ①「手土産になるお菓子作り」(世田谷区)
- 7月 ②「だしのティスティングとカップ寿司」(杉並区)
- 9月 ③「動物あんぱん」(世田谷区)
- 11月 ④「スポーツドリンク工場見学会」(文京区)※  
⑤「本格手作りシュトーレン」(府中市、文京区)  
⑥「東京X豚と大蔵大根地域交流会」(世田谷区)※  
※の世田谷区、文京区の活動は区の補助金を利用した活動
- 2011年2月 ⑦ 文京区消費生活展に展示発表  
・世田谷区「地域にねぎした食と農の講座」プレゼン  
審査後、企画に助成金50万円確定
- 3月 ⑧ 米粉促進ビジネスフォーラム・パネルディスカッションパネラー  
・文京区助成金エントリー 審査後4万円確定  
・東都生活協同組合との商品撮影フードコーディネートの契約(1年)
- 2011年4月 ・世田谷支所立ち上げ  
・文京区消費生活センター 夏休み子ども向け講座 2企画 確定  
・文京区社会福祉協議会 夏休み親子企画 1ブース担当 確定  
・フードコーディネート月2回稼動 (資料2)
- 5月 21年度総会をおこなう
- 6月 ①東京の野菜～江戸・東京野菜を知る～(世田谷区助成金企画)
- 7月 ②親子消費生活講座 野菜の浮き沈み(浮力の実験)(文京区)
- 7・8月 ③夏休み子ども出前講座(ジャムビン工作) 11箇所 (文京区)
- 8月 ④世田谷育ちの豚を見に行こう!(世田谷区助成金企画)  
⑤江戸時代にタイムスリップ～利休メシの試食品作成～(文京区) 100食  
⑥「江戸時代の食生活」講座 原田信男氏 (文京区助成金企画)
- 10月 ⑦世田谷の農地を見に行こう!(世田谷区助成金企画)  
⑧文京区収穫祭～世田谷産アローカナの卵販売(文京区)
- 11月 ⑨ぶんぱく出展～東京の農業～展示とアローカナ・有精卵の販売(文京区)
- 12月 ⑩「手作りシュトーレン」の講習会(文京区)  
⑪「手作りシュトーレン」の講習会(世田谷区)  
⑫世田谷の野菜を使って  
～バランスよく食べる～(世田谷区助成金企画)

